

トウネズミモチ

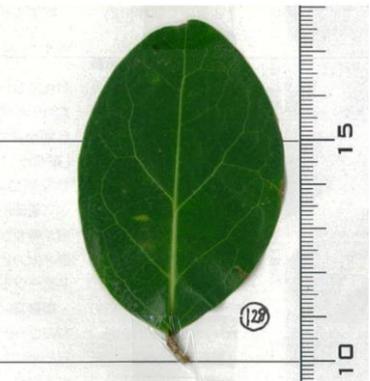
【 区画⑫(128, 129, 130, 131, 132, 133)】

学名	<i>Ligustrum lucidum</i> Aiton	分類	モクセイ科イボタノキ属
分布	関東地方～沖縄	樹高	10～15m程度

〈特徴等〉

名前の由来	<ul style="list-style-type: none"> ・「トウ」の漢字は唐で中国という意味。 ・「ネズミ」は果実がネズミの糞に似ていることから、「モチ」は葉がモチノキに類するために名付けられた。 		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁 全縁
開花等	・6月頃に白い花をつける。		
結実等	・果実は球形で紫がかかった黒色に熟す。		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・葉を太陽にかざすと、横に伸びる葉脈がはっきり透けて見える。 ・鳥が好んで果実を食べる。 		

〈写真〉

		
樹木 (6/12)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (6/12)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 1024.
 林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 155.